

# 耐震改修工事 実施計画書

## 1 耐震改修工事を行う住宅の概要

所有者	坂井 太郎
所在地	坂井市坂井町下新庄 1-1
工 法	1 在来軸組構法      2 伝統的構法      3 枠組壁工法
延床面積	1階：120.5 m <sup>2</sup> 2階：110.5 m <sup>2</sup> 3階：      m <sup>2</sup> 合計：231.0 m <sup>2</sup>
建築年月	昭和49年 6月
建築基準法第6条第1項の大規模の修繕若しくは大規模の模様替に該当する※1	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない

※1 該当する場合は、完了報告書提出時に建築基準法第7条第5項および第7条の2第5項による検査済証を添付してください。

## 2 改修前の診断評点

耐震診断 実施年度	R6	耐震診断士派遣決定通知書 の番号および年月日	坂 都 第 〇〇〇 号 令和6年 〇月 〇日
担当耐震診断士	耐震診断士登録番号		第 19684 号
	氏 名		坂井 一郎
耐震診断による 診断評点		X方向	Y方向
	3階		
	2階	0.86	0.75
	1階	0.45	0.68
耐震診断(伝統耐 震診断法)の場合 評価指数		X方向	Y方向

## 3 改修後の診断評点

補強計画を作成 した耐震診断士	耐震診断士登録番号	第 19684 号	
	氏 名	坂井 一郎	
耐震診断の場合			
補強計画の方針 (どちらかを選択)	<input checked="" type="checkbox"/> ① [住宅全体の耐震改修] 診断評点を 1.0 以上にする <input type="checkbox"/> ② [住宅全体の耐震改修] 診断評点を 0.7 以上にする ※2 <input type="checkbox"/> ③ [特定居室の部分的な耐震改修] 部分診断評点を 1.5 以上にする		
補強計画による 診断評点		X方向	Y方向
	3階		
	2階	1.02	1.15
	1階	1.08	1.07
補強計画による 部分診断評点	1階		
耐震診断(伝統耐震診断法)の場合			
補強計画の方針	<input type="checkbox"/> ④ [住宅全体の耐震改修] 診断評点 1.0 以上相当とする ※2		

※2 ②から④を選択した場合は、所得税控除等の税制上の優遇措置を受けられません。

※裏面あり

#### 4 補助金額の算出

	金額	内 訳		
		工事費	設計費	工事監理費
総費用	4,000,000 円	3,800,000 円	100,000 円	100,000 円
耐震改修に要する費用 (補助対象経費)	3,000,000 円	3,000,000 円		
補助金の額※3	1,400,000 円	(補助金の額は千円未満を切捨て記入してください。)		

※3 補助金の額は、要綱別表第1の3の項の補助率等の規定に基づき算出し記入ください。上記3の補強計画の方針のいずれの場合も上限を180万円とします。